

2014年3月27日

インドにおける最大級・高品質のデータセンター 「インド バンガロール 2 データセンター」の提供開始について

NTT コミュニケーションズ（略称：NTT Com）は、データセンター関連サービスを提供しているグループ会社 Netmagic Solutions Private Limited(ネットマジック・ソリューションズ社、略称：Netmagic 社)を通じて、2014年3月27日に、インドにおいて8番目となる「インド バンガロール 2 データセンター」の提供を開始します。

本データセンターは、インドのシリコンバレーとも呼ばれる、バンガロール近郊の IT 企業などへの優遇措置が行き届いた主な工業団地のひとつである「エレクトロニック・シティ」に位置しており、インド最大級のサーバールーム面積約 4,600 m² (1,400 ラック相当) を提供します。

1. 背景

経済成長著しいインドにおいて、経済センターの一つであるバンガロールは、国内外の IT 企業や製造業、流通業など企業進出が加速しており、それに伴いデータセンターサービスの需要が急速に拡大しています。

NTT Com は、Netmagic 社を通じてインドのデータセンターサービスを提供しており、現在バンガロール、ムンバイ、デリー(ノイダ)、チェンナイに 7 つのデータセンターを展開していますが、お客さまのさらなる要望にお応えするため、バンガロールで新たなデータセンターの提供を開始します。

(別紙 1) 「インド バンガロール 2 データセンター」の外観

(別紙 2) インドのデータセンター拠点

2. 概要・特長

本データセンターは、インド国内で長年幅広いデータセンター提供実績を持つ Netmagic 社と NTT Com がグローバルに展開しているデータセンターの建設や運用ノウハウを結集させた初のデータセンターです。Nexcenter™*1 ブランドの下、「高品質」、「低コスト」、「柔軟性」をあわせもつ次世代データセンターサービスの需要に応じていきます。

(1) 高い拡張性と信頼性を備えた高品質データセンター

データセンターに関する各種グローバルスタンダードに基づき、設備や運用について NTT Com が定める 300 項目以上のグローバル統一基準に準拠したサービスを提供します。インド国内は一般的に電力供給が不安定で、停電も多い中で、本データセンターでは、UPS などの電力設備を二重化することにより、24 時間 365 日にわたり安定した電力を継続供給します。また、空調・通信設備の冗長化やセキュリティの充実などにより、インドでは最高レベルの信頼性や SLA を備えたデータセンターです。

(2) 低コストでディザスタリカバリーやオフショア開発拠点、業務アウトソース先に最適

バンガロールは、自然災害が少なく、政情も安定しており、アジアの中でも人件費、電力コストなどが安価なことから、インド国内だけでなく、近隣諸国からのディザスタリカバリーや、システム開発・運用管理を海外から現地に委託するオフショア開発の拠点などに最適です。

(3) 国際認証に準拠した安全性と柔軟性を兼ね備えたサービス

IT システム運用管理の包括的ガイドラインである ITIL^{*2} に基づく運用のほか、ISO 27001、ISO 9001、ISO 20000-1 などの国際認証や、SAP 認定を取得した先進の運用体制で、オンサイトスタッフによる各種マネージドサービスや、リモートハンドサービスなど、安全かつ柔軟な運用サービスを提供します。

(別紙3) 「インドバンガロール2 データセンター」の仕様

3. 提供開始日

2014年3月27日

(参考) Netmagic 社について

Netmagic 社 (本社: インド ムンバイ、CEO: Sharad Sanghi) は現在従業員約 700 名を擁し、1998 年の会社設立以降 16 年間にわたりインドでコロケーションサービスやクラウドサービスを提供する、インドにおける業界のパイオニアです。1,200 以上の企業に対する高品質サービスの提供実績があります。

*1: データセンターサービス ブランド「Nexcenter™」

The logo for Nexcenter features the word "Nexcenter" in a sans-serif font. The "N" is blue, "ex" is yellow, and "center" is blue.

グローバル品質でフルサポート、先進のデータセンターサービスで、お客さまのビジネスを加速します。

*2: Information Technology Infrastructure Library の略。ICT サービスの運用・管理におけるベストプラクティス、ノウハウをまとめた書籍群。英国規格である BS 15000 のベースとなっており、業界標準として認知されている。

別紙 1:「インド バンガロール 2 データセンター」の外観



別紙 2 : インドのデータセンター拠点



別紙3：「インドバンガロール2 データセンター」の仕様

所在地	バンガロールの工業団地エレクトロニック・シティエリアに立地 ベンガルール国際空港から車で約2時間(約50km)	
建物	延床面積	約9,300 m ²
	構造・階数	コンクリート造3階建て
	床積載耐荷重	1,200kg Kg/m ²
電力設備	受電	二系統受電
	常用発電装置	N+1冗長構成 48時間以上無給油運転可能 長時間停電に備え、長期間連続運転が可能な機種を採用
	UPS	2N冗長構成 バッテリー保持時間7分以上
空調設備	空冷式 N+1冗長構成	
消火設備	Novec 1230 ガス消火システム VESDA(超高感度煙感知装置)	
二重床高	750mm	
セキュリティ設備	事前入館申請 ICカード+生体認証による入室 セキュリティゲート、監視カメラ、ラック個別施錠 24時間警備員常駐 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティカスタマイズが可能	
グリーン指標	LEED(全米グリーンビルディング評議会による環境性能を評価する格付制度) GOLD 認証取得予定	
通信環境	キャリアニュートラル対応	
保守・運用サービス (24/365)	英語/ヒンディー語対応サービスデスク オンサイトスタッフによる各種リモートハンドサービス	
各種認証	ISO27001, ISO9001, ISO20000, SAP	
Tier レベル ^{*1}	Tier III以上	

*1：米国データセンター業界団体 Uptime Institute, Inc.による“Tier Classification Define Site Infrastructure Performance”に規定する主な評価基準による当社の自己評価です。